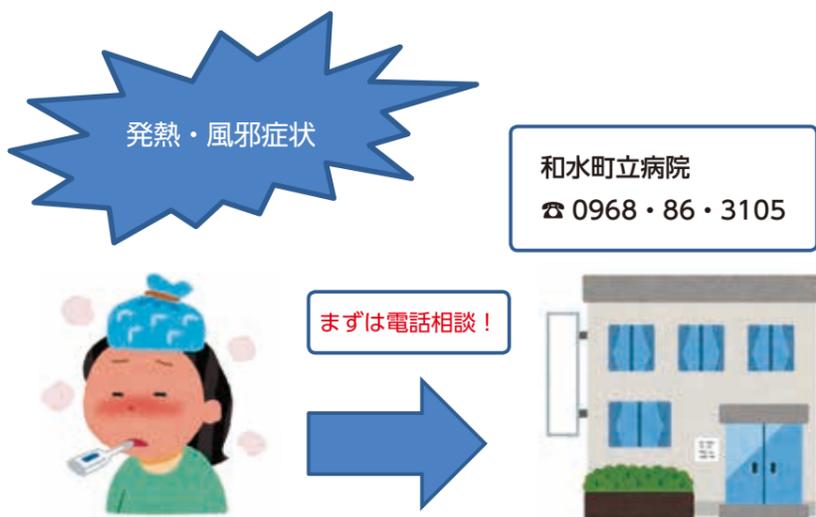




新型コロナウイルスなどの感染症防止のため、発熱または風邪症状で診察を希望する場合は、**必ず来院前に電話でご相談ください。**専門の看護師が対応し、来院時間などをご連絡します。

また、屋外での診察、待機となりますので、できるだけ自家用車での来院をお願いします。自家用車以外の方法で来院された場合でも、テントを設営していますので、テント内で待機することが可能です。

感染防止のため、ご理解とご協力をお願いします。



**面会禁止**

新型コロナウイルス感染症が日本中で流行しています。

当院の診療機能を低下させることなく、医療体制を確保する必要があることから、「面会禁止」を継続します。

**タブレット端末を使用した動画での面会**

時間：毎日、午後2時、午後3時、午後4時から(5分以内)  
※事前に電話で予約が必要です。

**荷物の受け渡し**

時間：午後3時～5時  
仕事などの都合上、上記の時間以外に荷物をお持ちになる人は、受け取りのみとします。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

**ご寄付ありがとうございます**

複数の企業・団体・個人から当院へマスクなどの医療物資のご寄付ほか、食品の差し入れなどを多数いただいています。

医療現場のスタッフにとって、地域の皆さんからの温かいご支援・ご声援が何よりの励みになっています。

多大なご寄付に厚くお礼申し上げます。心より感謝申し上げます。



JAたまなからたくさんトマトをいただきました

あの頃の古墳祭にタイムスリップ

今年の8月で50回の節目を迎える和木町古墳祭。その思い出を隔月で紹介します。第1回は内原壽一さん(久米野)のお話。



1992(平成4)年に肥後民家村に石のステージが整備され、こけら落としとして「宗次郎」と「パソコン」のコンサートが行われました。翌年は「アパソコン」と「スーパーきむな」を迎えてコンサートを企画しましたが、残念ながら雨天中止となってしまいました。古墳祭は真夏の祭りということもあり、夕立に悩まされたのを覚えていません。



1993(平成5)年のリーフレット

ライブの運営をきっかけに、「プランニング炎」を立ち上げ、古墳祭の企画運営に参画しました。一番の思い出は平成16年の「ビギン」のライブです。ビギンに来てもらいたいと、プランニング炎のメンバーでビデオレターを送りました。1週間ほどで返事が来て感動しました。ライブ当日は台風が接近し、中止するしかないと考えていましたが、奇跡的に雨も降らず、約4,000人がビギンの歌声で盛り上がりました。



内原壽一さん(久米野)。古墳祭企画委員会「プランニング炎(ほのお)」で平成23年まで企画委員長を務め、古墳祭の企画運営に尽力した。

今年で50回を迎える古墳祭ですが、新型コロナウイルスが猛威を振るっており、企画委員会は頭を悩ませていることだと思います。しかし、50年続いている祭りに、町民は誇りや親しみを持っているので、十分に対策を講じたうえで開催されることを楽しみにしています。

古墳祭企画委員会では、古墳祭と一緒に盛り上げていただける人を募集しています。興味のある人は、お電話ください。  
問 商工観光課 観光係  
☎ 0968・86・5725